

平成22年度

青森県「医学生の地域医療環流促進事業」

(全国医学生に対する地域医療実習)

中間報告書

(平成22年8月現在)

青森県健康福祉部医療薬務課



## 目 次

はじめに

実習施設の所在地等

### ○三戸中央病院での実習

H22. 07. 26～07. 30 琉球大学 5 年生 . . . . . 1

### ○公立野辺地病院での実習

H22. 08. 09～08. 13 神戸大学 5 年生 . . . . . 2

### ○大間病院での実習

H22. 08. 23～08. 27 東京大学 5 年生 . . . . . 3

### ○おいらせ病院での実習

H22. 08. 02～08. 06 川崎医科大学 4 年生 . . . . . 4

### ○深浦町関診療所での実習

H22. 04. 11～05. 21 大阪市立大学 6 年生 . . . . . 5

H22. 08. 02～08. 06 北海道大学 5 年生 . . . . . 6

### ○田子診療所での実習

H22. 08. 09～08. 13 奈良県立医科大学 5 年生 . . . . . 7

### ○六ヶ所村尾駁診療所での実習

H22. 05. 17～05. 29 日本医科大学 6 年生 . . . . . 8

H22. 05. 17～05. 29 日本医科大学 6 年生 . . . . . 9



## はじめに

青森県では、深刻な医師不足の解消のため、「良医」を育む地域づくりに向けて様々な取組を行っており、その中で、平成18年度から、地域医療に興味を持つ全国の医学生を対象とし、へき地等の地域医療機関の協力の下、地域医療実習を実施してきたところです。

平成22年度は、県内13医療機関の協力を得て、この地域医療実習を実施しています。平成22年4月～8月の間、北海道から沖縄まで全国から9名の医学生が、地域医療実習に参加しています。

本中間報告書は、この9名の医学生からの実習報告を取りまとめたものです。

### (参考：過去の実績)

平成18年度 2名

- ・深浦町関診療所 2名(大阪市立大学6年生)

平成19年度 9名

- ・むつ総合病院 5名(弘前大学5年生4名、杏林大学6年生1名)
- ・深浦町関診療所 2名(大阪市立大学6年生)
- ・東通村診療所 1名(大阪大学5年生)
- ・三戸中央病院 1名(山梨大学5年生)

平成20年度 2名

- ・深浦町関診療所 2名(大阪市立大学6年生1名、近畿大学5年生1名)

平成21年度 9名

- ・むつ総合病院 1名(山梨大学4年生)
- ・公立野辺地病院 1名(琉球大学5年生)
- ・深浦町関診療所 5名(大阪市立大学6年生3名、東京大学5年生1名、弘前大学4年生1名)
- ・六ヶ所村尾駈診療所 2名(筑波大学5年生1名、東京大学5年生1名)

実習施設の所在地等



実習施設名	所在地	電話番号	ホームページ
①むつ総合病院	むつ市小川町一丁目2番8号	0175-22-2111	<a href="http://www.hospital-mutsu.or.jp/">http://www.hospital-mutsu.or.jp/</a>
②三戸中央病院	三戸郡三戸町大字川守田字沖中9-1	0179-20-1131	<a href="http://www.sannohe-hp.jp/">http://www.sannohe-hp.jp/</a>
③野辺地病院	上北郡野辺地町鳴沢9-12	0175-64-3211	<a href="http://www.hospital.noheji.aomori.jp/">http://www.hospital.noheji.aomori.jp/</a>
④大間病院	下北郡大間町大字大間字大間平20-78	0175-37-2105	<a href="http://www.shimokita-mc.jp/oma/index.html">http://www.shimokita-mc.jp/oma/index.html</a>
⑤おいらせ病院	上北郡おいらせ町上明堂1-1	0178-52-3111	<a href="http://www.town.oirase.aomori.jp/live/item.asp?g=4&amp;c=120&amp;i=10194">http://www.town.oirase.aomori.jp/live/item.asp?g=4&amp;c=120&amp;i=10194</a>
⑥名川病院	三戸郡南部町大字平字虚空蔵29	0178-76-2001	<a href="http://www.nanbu.net.pref.aomori.jp/nagawa-hp/">http://www.nanbu.net.pref.aomori.jp/nagawa-hp/</a>
⑦平内中央病院	東津軽郡平内町大字小湊字外ノ沢1-1	017-755-2131	<a href="http://www.town.hiranai.aomori.jp/index.cfm/40,0,149,html">http://www.town.hiranai.aomori.jp/index.cfm/40,0,149,html</a>
⑧大鰐病院	南津軽郡大鰐町大字蔵館字川原田40-4	0172-48-2211	<a href="http://www.town.owani.aomori.jp/hospital/">http://www.town.owani.aomori.jp/hospital/</a>
⑨黒石病院	黒石市北美町1-70	0172-48-2211	<a href="http://hospital-kuroishi.jp/">http://hospital-kuroishi.jp/</a>
⑩関診療所	西津軽郡深浦町大字関字柝沢78-2	0173-76-2109	<a href="http://www.town.fukaura.aomori.jp/">http://www.town.fukaura.aomori.jp/</a> (「各課のページ」から)
⑪東通村診療所	下北郡東通村大字砂子又字里17-2	0175-28-5111	<a href="http://www.nohana.net/">http://www.nohana.net/</a>
⑫田子診療所	三戸郡田子町大字田子字前田2-17	0179-32-3171	<a href="http://www.town.takko.aomori.jp/000000si0002000.htm">http://www.town.takko.aomori.jp/000000si0002000.htm</a>
⑬尾駁診療所	上北郡六ヶ所村尾駁野附1161	0175-72-2791	<a href="http://www.obuchi-clinic.net/">http://www.obuchi-clinic.net/</a>

## 三戸中央病院での実習

実習生：琉球大学5年生

実習期間	平成 22年 7 月 26日から平成 22年 7 月 30日まで
実習内容 (概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来診察の見学、問診・身体所見の実習</li> <li>・ 病棟業務の見学</li> <li>・ 救急外来見学（症例：胃妻の胃壁埋没、ハチによるアナフィラキシーショック、高齢認知症患者の突然の高熱）</li> <li>・ グループホーム往診</li> <li>・ 周辺地域診療所での外来診察の見学</li> </ul>
実習に対する感想	<p>5日間という短い期間でしたが、とても充実していました。毎日指導していただく担当医を指定して頂き、指導医のもと問診などの学生でもできる業務があれば経験させていただきました。チームの一員として受け入れてもらえ、常に気にかけてもらえたのが嬉しかったです。看護師や事務の職員の方にもとても親切にいただきました。また、昼の業務のみでなく三戸の地元料理を食べに連れて行って下さり、楽しいひと時を過ごすことができました。</p> <p>先輩医師の働く姿を通して、地域医療の楽しさを実感することができ、また地域で働く医師として身につけなければならないことを具体的に知ることができました。将来、自分がなりたい医師像を具体的にイメージできるようになったことが本実習での最大の収穫であり、今後はそのイメージに少しでも近づけるように頑張っていきたいと思います。</p>
実習に対する意見 ・ 要望	<p>とてもいい経験になったので、可能ならば来年も参加したいと思います。</p>

## 公立野辺地病院での実習

実習生：神戸大学5年生

実習期間	平成 22年 8月 9日から平成 22年 8月 13日まで
実習内容 (概要)	<p>消化器疾患をベースにしつつ、循環器・血液などの疾患も同時に診ることができた。 また実践的な面として、採血・エコー・ルートの確保等、医師の指導のもとに行わせていただいた。</p> <p>患者の高齢化が進んでおり、食事が摂れないケースや脱水のケース、便秘のケース、食あたりのケースが多かったと思うが、このようなcommon diseaseをDrとマンツーマンで考察することができた。</p>
実習に対する感想	<p>Drとマンツーマンで外来・エコー等検査・回診を行ったが、説明が本当に丁寧であり、わからないことが1週間でどんどん減っていった。 また、丁寧な説明をうけた上で、外来の初診・エコー等検査などを毎日させてもらえるのでinputだけでなくoutputも行え、知識がみるみるうちに付いていった。</p> <p>普段、大学病院では行えないような採血も次々行わせていただき、研修医になったときに役立つ手技を多く経験させていただきました。 本当に楽しかった実習だと思います。</p>
実習に対する意見・要望	<p>改善点はありません。充分すぎる実習だったと考えます。</p> <p>医師の方だけでなく、看護師・医療事務の方にいたるまで全員が全員親身になって接していただき、本当に感謝しています。</p>

## 大間病院での実習

実習生：東京大学5年生

実習期間	平成 22年 8月 23日から平成 22年 8月 27日まで
実習内容 (概要)	<p>大間病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来、検査見学</li> <li>・ 病棟見学</li> <li>・ 訪問診療</li> <li>・ 出張診療所</li> </ul> <p>特別養護老人ホーム くろまつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防教室への同行</li> <li>・ 訪問活動</li> <li>・ 配食サービス</li> </ul> <p>むつ総合病院見学</p>
実習に対する感想	<p>まず病院の周りの環境などあらゆることが新鮮であったので、1週間という期間は少し短く、非常に毎日が充実していた。大間病院は地域の中核病院ではあるものの総合病院ではないためおもにむつ総合病院と連携をとったり、出張診療所や訪問診療を行ったりしており、また隣接している「くろまつ」も含めるとあらゆる医療の分野をカバーしており、大学病院などの都市部の病院しか知らない自分にとっては勉強になることが多かった。みなさん明るくアットホームな雰囲気です。質問もしやすく、また“待合室実習”など患者さんとかかわる時間も長いので地域について理解が深まった。今回、医学的知識はそれほど増えなかったが、地域医療の現状や医師としての姿勢のような本からは得にくいことが非常に重要なことを実体験として学べたと思う。</p>
実習に対する意見 ・ 要望	<p>県外の学生だと、総合病院と診療所のように役割の異なる両方の施設で実習できると地域の現状なども含めてさらに理解が深まるかもしれません。</p> <p>実習期間に幅が持てるといいかもしれません。</p> <p>県として学生の実習を仲介してくれるというのは非常にありがたいことなので、是非これからもこういった取り組みを続けていただければと思います。</p> <p>宿泊や交通費などの面でも充実しているので、周りにはいる地域医療などに興味のある友人などに勧めやすいです。</p> <p>有意義な実習をさせていただきまして、本当にありがとうございました。</p>

## おいらせ病院での実習

実習生：川崎医科大学4年生

実習期間	平成22年8月2日から平成22年8月6日まで
実習内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 外来患者の問診の見学</li><li>・ 糖尿病教室の見学</li><li>・ 特別養護老人ホームや在宅患者への訪問診療</li><li>・ 人工股関節置換術後、感染・化膿した創の切除の見学</li><li>・ 各種の検査(動脈採血、内視鏡検査、CT撮影)の見学</li></ul>
実習に対する感想	<p>医療機関で行われていることを実際に見せていただいたことで、普段、大学で学んでいる以外の、現場に則した応対や処置の仕方も知ることができました。</p> <p>また、午後には特別養護老人ホームへの訪問や、院内でのリハビリテーションの見学を行いました。さまざまな施設や場面を見せていただけたのも、とても良かったです。</p> <p>最後に、実際に現場に行かせていただくと、「知らない」ということは許されないことなのだ、と痛感しました。病院に来る患者さんは医師に100%の知識を求めてやって来ます。私もその思いに答えられるよう、残りの大学生活を過ごしていきたいです。</p>
実習に対する意見・要望	<p>私は、岡山県の大学に通っていますが、大学に掲示してあった地域医療実習のポスターを見てこの制度を知り、夏休みを使って実習に行きました。</p> <p>今回、日時を考慮して下さった、病院の事務のかた、医療薬務課の斎藤さん、本当にありがとうございました。</p>

## 深浦町関診療所での実習

実習生：大阪市立大学6年生

実習期間	平成22年4月11日から平成22年5月21日まで
実習内容 (概要)	深浦町の診療所での外来診療、実習 訪問看護への同行、診療往診の訪問 特別養護老人ホームでの医療活動の実習、 保健師に同行し、保健活動の見学 保健所実習
実習に対する感想	青森という大阪とは全くと言っていいほど違う環境の中に入ること で、本当の地域医療というものを肌で感じた。また、地域の健康問題が 医療だけでは解決できないことも学んだ。
実習に対する意見 ・要望	これからも、学生を受け入れてほしいと思う。 学生がこの事業をもっと知る機会を増やしてほしい。 特に他県において。

## 深浦町関診療所での実習

実習生：北海道大学5年生

実習期間	平成 22 年 8 月 2 日から平成 22 年 8 月 6 日まで
実習内容 (概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来実習 単なる見学ではなく、診察や処置など行う指導のもと採血や点滴、血液検査なども</li> <li>・ 訪問看護、訪問診療 特別養護老人ホームや一般家庭を訪問 清拭、着替え、褥瘡のケア、痰の吸引など 診察した内容はカルテに記載する</li> <li>・ その他 エコーの練習、DVDや書籍による自習</li> </ul>
実習に対する感想	<p>今まで大学病院での実習は主に見学が主体で、今回のような体験が主体の実習は初めてでした。実習初日は何をしても良いかわからず「ぼさっと」していて御叱りを受けましたが、積極性を持って診察したり処置を手伝ったりと、行動を起こす事の大切さを教えて頂きました。</p> <p>短い期間でしたが、在宅での治療の現場を体験したり、指導のもの下いくつかの手技もやらせて頂き、有意義で充実した1週間でした。</p> <p>今後この実習での体験を活かし、知識だけでなく技能・人格に関しても磨いていきたいと思っております。</p>
実習に対する意見 ・ 要望	<p>とても有意義な実習で、参加して良かったと思います。</p> <p>短い期間でしたが、本当にありがとうございました。</p>

## 田子診療所での実習

実習生：奈良県立医科大学5年生

実習期間	平成22年 8月 9日から平成22年 8月13日まで
実習内容 (概要)	<p>月曜日 外来見学・グループホーム回診（みろく苑）          火曜日 訪問看護・特養老人ホーム回診（みろく苑）          水曜日 外来見学・予防接種見学・訪問診療への同行          木曜日 老健実習・老健総回診見学          金曜日 外来見学</p> <p>その他：毎日の写真検討とカルテレビュー          検査見学（エコー等）          救急車で三戸病院への患者転送への同行          老健カンファ見学させて頂きました。</p>
実習に対する感想	<p>田子診療所での地域医療実習において、とても印象に残ったことは、院長先生・副院長先生が、大学病院の先生より多くの可能性を常に考えているということでした。元気そうに見えても、もしも症状が急変した場合対応しきれない、診療所では治療できない疾患の可能性がある。入院させることができないが、この患者さんは入院して様子を観察する必要がある。など、複雑なことを患者さん第一で考え、必要があれば他院に紹介・転院させることを瞬時に判断していました。そこには判断を誤らない為に日々勉強されているからこそ出来ることなのだと思います。自分も将来自分で責任を持って診断していくことを、もっと考えながら勉強しなければならない痛感しました。</p> <p>また今回の実習で、大学病院での実習では体験できないような、介護分野の実習を多くさせて頂きました。地域医療にとって高齢者への医療は決して外せないものであり、とてもいい経験になりました。特に、訪問看護は介護している家族の負担を軽減するだけでなく、心のケアまで行っている姿を拝見して、もっと訪問看護が広まるように医師側から協力していく方法があるのではないかと考えさせられました。</p> <p>一週間という短い期間でしたが、盛りだくさんで充実した実習になったと思います。お忙しい中、色々ご指導いただき本当にありがとうございました。</p>
実習に対する意見・要望	<p>県外の実習生に対して事前に方言についてのアドバイスやよく使われる方言の紹介などがあれば良いなと思いました。</p>

## 六ヶ所村尾駮診療所での実習

実習生：日本医科大学6年生

実習期間	平成22年5月17日から平成22年5月29日まで
実習内容 (概要)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 尾駮診療所内での医師の日常業務の見学（外来診療・検査）</li> <li>2. 外来診療後の症例検討会への参加</li> <li>3. 外来診療前の勉強会への参加 (その他)</li> <li>1. 千歳平診療所・特別養護老人ホーム（ぼんてん荘）への往診の付き添い</li> <li>2. 認知症グループホーム（タンポポハウス）への当直体験</li> <li>3. 小学校・中学校健診への付き添い</li> </ol>
実習に対する感想	<p>これまで大都市部の大学病院での病院実習しか知らなかった私の尾駮診療所での2週間の実習の目的は地域医療とはどういう医療なのかを実習を通して経験し考えることだった。尾駮診療所での実習は、今まで経験してきた病院実習の中でとりわけ体力的にハードだった。朝8時から遅い時は夜10時まで実習があり先生たちとの濃密な時間を過ごした。しかし大学病院での実習では経験できないことを数多く体験し、有意義な時間を過ごすことができたと思う。臨床医学的な部分でも非常に勉強になったし、また地域医療と都市部医療の違いを数多く見つけることができた。またとりわけ強く印象に残ったのは、地域医療にかける先生たちの姿だった。彼らの医師としての責任感・地域医療への思いは、とても情熱的で私も強く魅了されるほどだった。こういう医療の世界を垣間見ることができたことで今後の医師人生に大きな視野を与えてくれたと思う。東京に帰ってぜひ地域医療の意義や大切さを後輩に伝えたいと強く思った。</p>
実習に対する意見・要望	<p>特に不満はありませんでした。 診療所の酒井事務長には宿泊施設の手配など色々とお世話になり、感謝しています。本当にいい経験ができました。 都市部の医学生は地域医療というものを知らない学生が数多くいます。ぜひ今後もこのプログラムを予算の許す限り大々的に宣伝すれば、学生は集まりますし、その中で地域医療を志す学生も出てくると思います。有難うございました。</p>

## 六ヶ所村尾駮診療所での実習

実習生：日本医科大学6年生

<p>実習期間</p>	<p>平成 22 年 5月17日から平成 22 年 5月29日まで</p>
<p>実習内容 (概要)</p>	<p>主に外来診察・各種検査と入院患者の管理を見学・参加しました。外来診察では指導医と共に、問診・身体診察を行い、診断・治療についてディスカッションを行いました。また、診療終了後も毎日症例検討会に参加し、議論と知識の共有に努めました。その他にも、在宅患者への往診、千歳平診療所での診療、救急車で患者搬送、1歳児・3歳児・小学校・中学校の健康診断、救急隊との打合わせ、老人ホーム・ぼんてん荘の見学、老人ホーム・タンポポハウスでの1泊研修、デイサービス施設の見学、ピヨママ教室（1歳未満の児と母の集い）、他診療所とのネット会議、等へ参加しました。</p>
<p>実習に対する感想</p>	<p>尾駮診療所では非常に有意義かつ充実した2週間を過ごすことができました。このような機会を与えていただきまして、青森県の医療薬務課・医師確保・機能再編推進グループ、松岡先生をはじめ尾駮診療所のスタッフの皆さん、伺った施設の方々、診察に協力していただいた患者さんに心より感謝をしております。</p> <p>尾駮診療所では患者さんと対等な関係で向き合い、共に医療を行っていく患者中心の医療（PCM）、つまり本来あるべき人と人との関係性を重視した医療を経験できたと思います。また施設の見学等を通して地域における医者の方々の様々な役割と各所との連携・協力システムも学びました。これらは大学病院での専門分化した医療の中では見てこなかったものでした。この2週間を通して、知識・技術だけでなく、自分の医師像・医療像を考え直すきっかけ・方向性も得ることができまして、非常に貴重な体験となりました。</p> <p>最後に、とても充実した実習を行えましてを報告すると共に、改めて今回の実習を通して出会った方々に感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>実習に対する意見 ・要望</p>	<p>今回の実習では、見学だけでなく実際の診療に参加させていただきましたし、先生方との多くのディスカッションを通して理解を深めることができました。また、施設見学・会議への参加などで多くの方に直接意見を伺うことができまして、「地域医療」を学ぶという自分の目的を十二分に満たすことができました。また、生活の面でも快適な環境を準備していただき、実習に集中して臨むことができました。ありがとうございました。</p>